



朱三学校だより

特別号

全国学力学習状
況調査結果特集

平成28年11月30日
京都市立朱雀第三小学校
校長 小林 一弘

学校教育目標

協働・挑戦・前進

Tel 312-3203

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai3-s/>

平成28年度 全国学力学習状況調査の結果

4月19日に、本校6年生49名を対象に実施された「全国学力学習状況調査」の結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。その結果から、学力の様子や生活習慣についてなど、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数）

国語A・B、算数A・Bのすべての科目において全国・京都府平均を上回りました。特に国語・算数ともにA（知識）の結果に比べてB（活用）の結果の方が、全校・京都府平均を大きく上回っていました。また、無回答率は、ほとんどの問題で、全国・京都府平均より低い結果でした。これは、児童が主体的に問題に向かい、最後まであきらめずに自分の力を出し切ろうという姿勢がよく表れている結果であったといえます。

国語科より

ほとんどの問題において全国・京都府平均を上回っていました。特に、国語Bの「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを書く」問題（設問3）では、全国・京都府平均を大きく上回り、紹介したい内容をまとめて書く力がついてきていることがわかりました。

しかし、「相談」という漢字や「りんご」をローマ字で正しく書く問題の正答率が低くなっている状況が見られました。

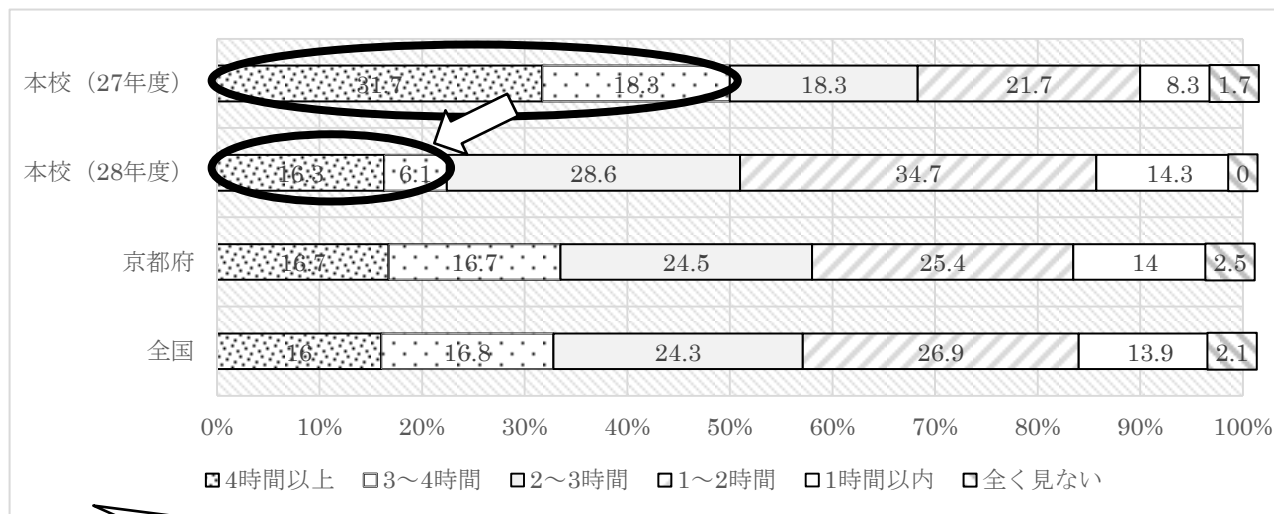
算数科より

全体的によくできているといえます。特に、算数Bの「式の意味の説明を記述する」問題（設問5）では、全国・京都府平均を大きく上回っていました。

しかし、「約分を含んだ分数のかけ算」や「4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ問題」、「示された四角形を並べてできる図形を選ぶ問題」などでは、全国・京都府平均を下回っていました。「計算」や「図形」領域について、繰り返し復習することが必要です。

児童質問紙調査から

Q 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見ますか。（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）



「1日当たりのテレビ等の時間」は、27年度に比べて大きく減少しています。27年度では、1日3時間以上と答えている児童が50%なのに対して、28年度は約22%になっています。別項目の質問であったテレビゲーム（パソコン・スマホ等のゲーム含む）の時間についても、全国・京都府より少ないという傾向が見られるので、家庭学習や部活動、習い事に時間を費やしているのではないかと考えられます。

全体を通した本校の成果と課題

全体的によくできている結果であったといえます。特に、「主体的に考え、自分の考えを表現する力」の育成については、本校が授業研究の中心に考えているもので、取組の成果が表れているといえます。しかし、基礎・基本の問題である国語の漢字やローマ字、算数の計算など、課題もいくつか見られました。基礎・基本の定着は、6年生だけでなく、学校全体の課題と捉え、今後ともご家庭と連携して、学校での補充学習や家庭学習の習慣化をより図っていきます。そして、繰り返し復習することで確かな学力を身に付けていきたいと思います。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくために実施しています。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着し、さらに伸びていくものです。また、望ましい生活習慣や日々の学習習慣は、確かな学力の基盤となります。今後とも、引き続きまして、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力いただきますようお願いいたします。